

## いじめる人あり

臨済宗龍源寺 前住職 松原泰道さん

三田で生まれ育ち、この11月で百歳になられる松原さん。その歩まれた道のりは、まさにこの街の歴史とも言える。そんな松原さんに、かつての街の様子と人生の極意についてうかがった。

## 古川はよく増水をしました

わたしは、明治40年、ここ三田五丁目(当時、豊岡町)で生まれました。小学校は御田小、中学は高輪中でね。一時、修行のために岐阜に住んでいましたけど、それ以外はずっとこの街で暮らしています。

もう、すっかりと変わっちゃったけど、昔は、この辺りはもと旗本の水野さんの敷地だったんですね。古川は、ちよつとした雨でもすぐ増水したんですよ。それに、水はけが悪くてね。舟も通ったりしてたんですね。浸水も速いが、ひくのも速い。ある時、古川の浸水のせいで汚れてしまった家の羽目板をその川の泥水で洗っていたお婆さんがいたんで、どうして泥水なんかでわざわざ洗うのか、と聞いたところね、「泥水で汚れたものをいきなり清水で洗うとシミになる。だから泥水で泥を洗い落としてから、きれいな水で洗うんだよ。よく覚えておきなさい」と教えられました。なるほどと思いましたよ。これにはね、実に奥の深い意味があるんですね。人生にも通ずる。自分の手を汚さずして、他をきれいにすることはできない、ということなんですね。



松原泰道さん:臨済宗龍源寺前住職。明治40年、東京都港区三田生まれ。地元、御田小学校、高輪中学校をへて、早稲田大学文学部卒業。岐阜市瑞龍寺で修行の後、昭和11年より龍源寺第15世住職となる。臨済宗妙心寺派の元教学部長。著書:「般若心経入門」(祥伝社)など120冊以上。龍源寺:港区三田5-9-23

## いじめられると声をかけてくれた近所の大人たち

三田のお地藏さん(三田三丁目の角)の辺りは縁日がさかんで、そんな時にはバイオリン弾きがやって来て流行歌を弾いて歌っていました。

今の桜田通りの有禮(幽霊)坂の上りの角に石屋さんと麩の製造所がありましたね。そのちよつと奥まった辺りが、いじめの場所だったんです。体が弱かったもんだから、わたしもよくいじめられました。いじめられて泣いて帰ってくると、石屋のおじさんが通りに出て来て手を広げ、「けんかは勝つもんじゃないぞ。けんかは負けるもんだ。くやしかったら勉強で勝つんだ」とはげましてくれました。今はそんなことを言ってくれる大人が私をはじめ、いないのが子どもたちに申しわけないですね。

戦争の時は、疎開せずこちらにいました。昭和20年3月10日の東京大空襲が終わってから召集を受けたんです。昭和20年の大空襲の時、警報がなるので空を見上げると、B29が点灯してせまってくる。古川対岸の本村町に落ちたのが見えましたね。戦争で御田小が焼けて廃校になりそうになったときに、父兄でないのに田中みそ屋の田中聡吉さんが、われわれ住民の手で学校を建てよう、と発言されて「釘ひとにぎり運動」という住民運動を起こされました。御田小学校の住民全体が釘ひとにぎりを持ち寄って建設費を作ったんです。そして学校を建てました。ありがとうございました。

## 本とたくさん読みなさい、それが人をつくる

今年の11月23日で百歳になります。えっ、長生きと健康のひけつですか。そんなもんがあったら、わたしが知りたいね。でも、一つ感じるの、身体が弱かった自分がこうして元気であられるのは、30代で死んだ母親が余命を全部わたしてくれたという信念です。亡き母が守ってくれているんです。いつも、感謝しています。

パスカルが言うように「人間は一番弱い存在である。しかし、考える葦である。そこから出発しなさいいけない」ですね。今、若い人をお願いしたいのは、本を読んでください、ということ。本を読まないのがあらゆる犯罪の根幹になっていると思います。読書をしないと、ものごとを考えずに短絡的にとらえるようになってしまいます。読んで考える、それが大切なんです。私は、「一日一ページ読書」を提言しています。みなさんも実行してみてください。



## 親子で楽しむ少年野球チームがんばれ!!



低学年チーム・猛暑の中でのきびしい練習!

高松中学校で猛暑でも奮闘する少年野球チーム高輪台ファイターズとその保護者の皆さんに取材しました。

高輪台ファイターズは、なんと35年前に結成されています。メンバーは33名で、小学校

1年から4年の低学年チームと、5・6年の高学年チームがあります。練習は土・日・祝祭日、朝8時から夕方5時まで主に高松中学校のグラウンドで行っています。すごい練習量ですね。

指導される方は、地元の秋山さんという総監督の他、チームのOBの方が監督、コーチなどになっています。

堀内さんをマネージャーとする保護者の方々がお弁当づくりやチームの運営に携わっています。

各自負担の出費もそれほどではないようで、グラウンドもよく、野球を志す子供達、支える保護者の方にとって、とても恵まれた環境といえます。

港区スポーツ少年団主催の今年の秋の大会には、小中学生あわせて11チームが参加しています。

今年の夏の港区スポーツ財団主催の大会では、低学年チームが優勝し、高学年チームが準優勝でした。

高松中学校に拠点を持つこのチームは、良く組織され洗練された将来性のあるチームのようです。また、子ども同士も親同士も仲が良く、12月のオフ会などとても楽しそうです。野球好きの方はどんどん参加してほしいとのことです。



高学年チーム・夏の港区スポーツ大会で準優勝!